

第34回駅前放置自転車クリーンキャンペーン実施結果まとめ

- 1 実施期間：平成29年10月22日（日）から10月31日（火）までの10日間
- 2 実施主体：東京都、区市町村（島しょを除く）、国土交通省、警視庁、東京消防庁、JR東日本、私鉄各社、バス・タクシー事業団体、商工業団体、高齢者団体、障害者団体、消費者団体、学校関係団体、交通安全普及団体等
- 3 統一標語：「放置ゼロ キレイな街で おもてなし」
- 4 活動結果

(1) 広報活動

放置自転車問題を広く都民に訴えるため、各機関・団体がそれぞれの役割に応じて、多様な広報媒体を活用して広報活動を実施した。

ア 印刷物の掲示・配布

- ・ポスター 都：42,000枚、区市：352枚、関係団体：23,000枚作成
JR・民鉄・都営交通駅構内、バス営業所（731箇所、1,175枚）、電車・バス車内（22,997箇所、23,524枚）、学校、関係機関・団体（5,148枚）等に掲示
- ・リーフレット 都：303,900枚、区市町村：25,034枚作成
通勤・通学等自転車利用者、学校等に配布
- ・注意・警告札 109,523枚 放置自転車に取付け
- ・広報紙、機関紙等 12,099,741部（区市町、鉄道・バス会社、交通安全協会、商工関係団体他）

イ PR用品等

- ・看板 1,331枚 4区、2市
- ・横断幕 27枚 6区、3市
- ・のぼり旗、活動品 3,843枚 17区、16市
- ・関係団体作成配布用品等（標語入り宝くじ封入ビニール袋 100,000枚、標語入りポケットティッシュ 404,050個）

ウ その他の媒体

- ・ケーブルテレビ、コミュニティFMラジオ、防災無線放送、広報車、商店街放送、駅頭放送、駅構内放送、庁内放送、デジタルサイネージ、公式ホームページ、公式twitter、公式Facebook

(2) 駅頭広報・撤去活動

- | | | |
|-------------|----------------|-----------------------------------|
| 広報実施駅数：実数 | 214 駅 | （区部 135 駅、市部 77 駅、町部 2 駅） |
| | <u>延日数</u> | 809 日（区部 600 日、市部 207 日、町部 2 日） |
| 撤去実施駅数：実数 | 437 駅 | （区部 304 駅、市部 132 駅、町部 1 駅） |
| | <u>延日数</u> | 1,713 日（区部 985 日、市部 721 日、町部 7 日） |
| 撤去台数 | <u>6,544 台</u> | （区部 5,197 台、市部 1,346 台、町部 1 台） |
| 広報・撤去活動参加人員 | 延べ 14,698 人 | （区部 10,043 人、市部 4,637 人、町部 18 人） |
| 自動車動員台数：延べ | 2,010 台 | （広報車 96 台、トラック 1,898 台、その他 16 台） |

5 首都圏放置自転車対策協議会の活動

同協議会加盟の3県5政令都市（埼玉県、千葉県、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市）において、クリーンキャンペーンを協力して実施した。